



iTenticateの使い方

(ユーザー向け)

By



目次：

システム要件	1
iThenticateアカウント設定	2-3
iThenticateへのログイン	4-7
iThenticateメインページの説明	8-12
iThenticateでの文書アップロード	13-19
類似性レポートの見方	20 - 38
フォルダーの管理	39 - 42
設定	43

システム要件：

オペレーティングシステム：

Windows® 8.1, 10, 11
Mac OS X Intel El Capitan 10.11
ChromeOS

ブラウザ：

以下のブラウザの最新バージョンと 1 つ前のバージョンをサポートしています。

Chrome
Firefox
Safari
Microsoft Edge

技術要件：

ご利用のインターネットブラウザがTurnitin.com/TurnitinUK.com からの全てのクッキーを受け入れるように設定してください。

Javascriptを有効にしてください。

セキュリティー設定：

Turnitinの製品をアクセスするにはブラウザやアンチウイルスソフトが下記のURLのコンテンツをブロックしないよう設定してください。

*.ithenticate.com
.turnitin.com
.turnitinuk.com
.turnitincdn.com
ajax.googleapis.com

Turnitinからメールを受け取れるよう、下記のドメインからのメールをブロック、またはSPAMとして登録しないようにしてください。

@ithenticate.com
@turnitin.com
@turnitinuk.com
@iparadigms.com

iThenticateアカウント設定

初回ログインとパスワードの設定

管理者がユーザーを登録したタイミングで、「noreply@turnitin.com」より下図のメールが送られます。※メールが確認できない場合は、迷惑メールフォルダのご確認をお願いします。

「アカウントを設定する」をクリックして、アカウント作成を行います。

The screenshot shows an email from Turnitin. At the top is the Turnitin logo. Below it, the subject line reads "Turnitinへようこそ". The body of the email starts with "アカウント テスト さん、" followed by a message: "お客様は、iThenticateのDaichi Tanaka iThenticate Accountのアカウントに追加されました。" It then states: "この有効化リンクはお客様専用であり、1度のみ使用可能です。このメールは転送しないでください。". A large green button labeled "アカウントの有効化" is centered. Below this is a blue callout box containing a clock icon and the text: "このEメールに記載されているリンクの有効期限は7日間です。リンクの有効期限が切れているか、新しいリンクが必要な場合は、ご所属の組織の管理者にご連絡ください。". Further down, there's a note: "Daichi Tanaka iThenticate Account様には、iThenticateにアクセスするための専用のログインページが提供されています。アカウントの設定が完了したら、今後のアクセスに備えてアカウントのホームページをブックマークしてください。" and a link: "専用のログインページ: <https://sign-in>". At the bottom left is the company address: "2101 Webster Street, Suite 1800, Oakland, California 94612, United States". On the right are social media icons for Twitter, LinkedIn, and Facebook. A small note at the bottom right says: "© Turnitin, LLC. このメールはTurnitinに登録されている方にお送りしています。ご不明な点がございましたら、titsupport@turnitin.comまでお問い合わせください。メール通知は、[Turnitinのプライバシーポリシー](#)の対象となっています。"

ユーザー名とパスワードを指定し、利用許諾書を確認した上で「条件に同意します」にチェックを入れてください。
最後に「アカウントの作成」を押してください。

 iThenticate®

Daichi Tanaka iThenticate Account
のアカウントへの参加に招待されました。

アカウントを作成して開始しましょう。

ユーザー名

パスワード
 (?)

パスワードのガイドライン：

- 数字を最低1文字使用してください
- 特殊文字を最低1文字使用してください
- 大文字を最低1文字使用してください
- 小文字を最低1文字使用してください
- パスワードは 128 文字以内である必要があります
- 最低8文字使用してください

パスワードの確認
 (?)

両方のパスワードが一致しています

条件に同意します。 [条件を表示](#)

アカウントの作成

アカウント作成を完了すると、iThenticateのホーム画面に移動します。

メインメニュー ■■■ Daichiさん、ようこそ ヘルプ

ホーム

iThenticate
剽窃の検出に役立つ、研究者、出版社、学生のための総合的かつ効率的な類似性チェック

起動

1 2 3
詳細については、当社のステップ毎のガイダンスに従ってください
ガイドを開く

45%
10%

スマート検索
アカウント登録
アカウント登録

うまいことや、当社に改善してもらいたい点などをお知らせください
フィードバックを行う

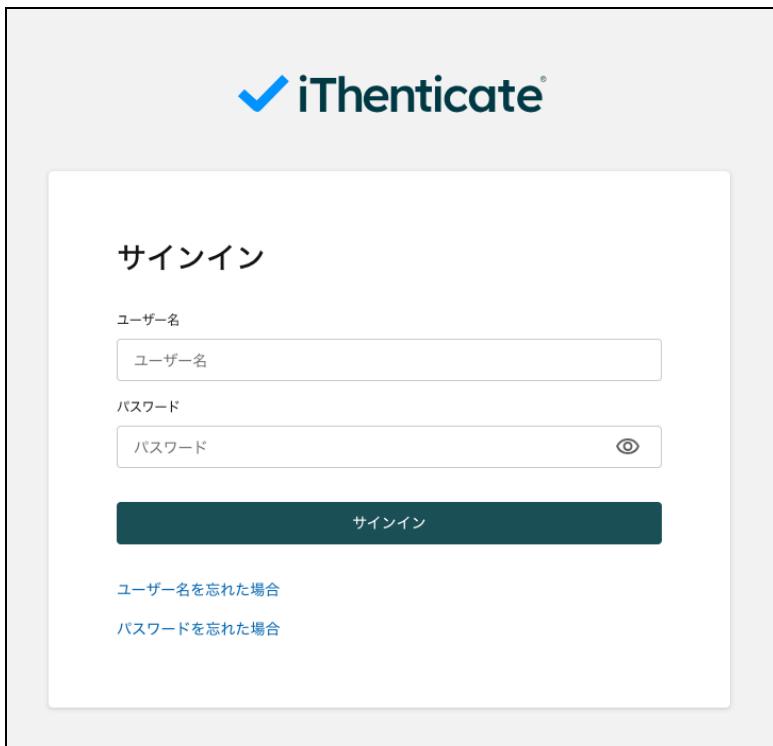
Daichi Tanaka

iThenticate <<

iThenticateへのログイン

二回目以降のログイン方法

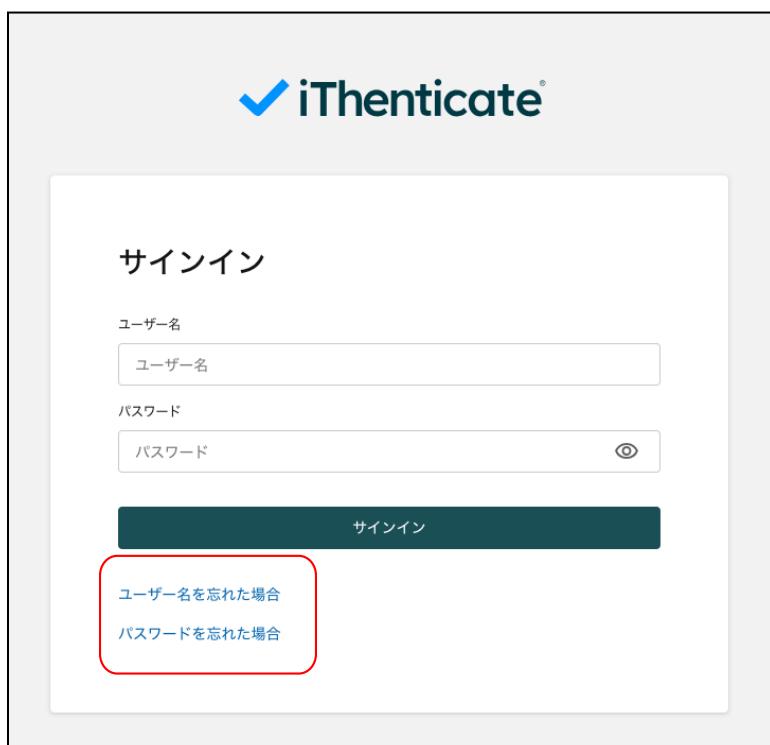
iThenticateにアクセスする専用のURLにアクセスし、ログイン情報を入力します。



The screenshot shows the iThenticate login page. At the top is the iThenticate logo with a checkmark icon. Below it is a light gray header bar with the text "サインイン". The main form area has two input fields: "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password), both with placeholder text. To the right of the password field is a visibility toggle icon. Below the inputs is a large dark green "サインイン" (Sign In) button. At the bottom of the form are two blue links: "ユーザー名を忘れた場合" (Forgot Username) and "パスワードを忘れた場合" (Forgot Password).

ユーザー名とパスワードを入力して、「サインイン」をクリックしてください。

ユーザー名またはパスワードを忘れた場合は、「サインイン」ボタンの下のリンクをクリックしてください。



This screenshot is identical to the one above, showing the iThenticate login page. However, the two bottom links—"ユーザー名を忘れた場合" and "パスワードを忘れた場合"—are highlighted with a red rounded rectangle.

ユーザー名を忘れた場合：



パスワードを忘れた場合：



メールアドレスを記入します。



 iThenticate®

パスワードをリセット

パスワード

👁

- 数字を最低1文字使用してください
- 大文字を最低1文字使用してください
- 最低8文字使用してください
- 特殊文字を最低1文字使用してください
- 小文字を最低1文字使用してください
- パスワードは 128 文字以内である必要があります

パスワードの確認

👁

- 両方のパスワードが一致しています

保存

すでにアカウントをお持ちですか？ [サインイン](#).

新しいパスワードを2回入力して、
「保存」ボタンを押してください。

iThenticateメインページの説明

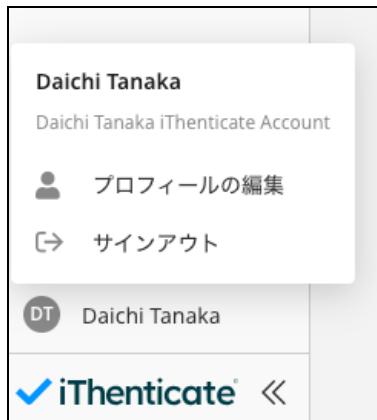
文書一覧画面の各項目説明

ログインした後のメインページです。

The screenshot shows the iThenticate homepage with a light gray header "Daichiさん、ようこそ". On the left, there's a vertical sidebar with "メインメニュー" and a "ホーム" button. The main content area has a title "iThenticate" and a subtitle "剽窃の検出に役立つ、研究者、出版社、学生のための総合的かつ効率的な類似性チェック". Below this is a "起動" button and a bar chart with two people standing next to it. To the right, there's a large "1 2 3" section with a "ガイドを開く" button, followed by a feedback section with "フィードバックを行う" and thumbs up/down icons.

左下の名前から個人情報の変更とログアウトができます。

This screenshot is identical to the one above, but a red box highlights the user profile area in the bottom-left corner of the sidebar. The sidebar shows "Daichi Tanaka" and "Daichi Tanaka iThenticate Account".

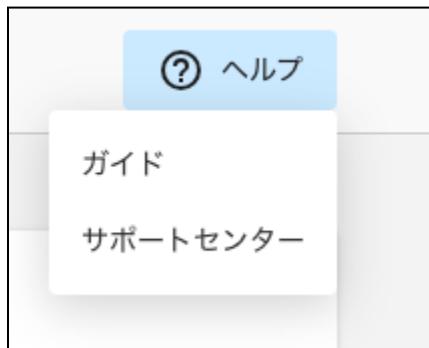


「プロフィールの編集」から1. 姓・名、2. メールアドレス、3. ユーザー名、4. 言語の変更、5. パスワードの変更ができます。

A screenshot of the "Edit Profile" form. The title bar says "プロフィールの編集". On the left is a sidebar with "メインメニュー" and "ホーム". The main area is titled "ユーザー情報" and contains fields for "名" (Name), "姓" (Last Name), "電子メール" (Email), "ユーザー名" (Username), and "言語" (Language). Below these fields is a link "パスワードの変更" (Change Password) and two buttons: "保存" (Save) and "リセット" (Reset). At the bottom of the sidebar is the user profile icon "DT Daichi Tanaka" and the iTenticate logo.

右上「ヘルプ」からガイドページとヘルプセンターを開くことができます。

The screenshot shows a software interface with a navigation bar at the top. On the far left, there's a vertical sidebar with a home icon and the word "ホーム". The main content area has a title "Daichiさん、ようこそ". In the top right corner of the main area, there's a "ヘルプ" button. A dropdown menu from this button contains two options: "ガイド" and "サポートセンター". The main content area displays a section titled "iThenticate" which is described as a tool for plagiarism detection. It features a chart with percentages (45%, 10%) and two cartoon figures. To the right of this is another section with large blue numbers "1 2 3" and a "ガイドを開く" button. At the bottom right of the main content area is a feedback section with "フィードバックを行う" and thumbs up/down icons.



iThenticateを開始する際は画面中央にある「起動」をクリックしてください。



または、左上4つのタイルのアイコンをクリックして、iThenticateを起動することもできます。





上記の方法でiTenticateの提出画面に移動します。

iTenticate メインメニュー

ホーム

iTenticate

マイファイル

自分と共有済み

ゴミ箱

設定

Daichi Tanaka

iTenticate <<

マイファイル

My Files

ファイルを管理 フォルダーを追加 編集 移動 削除

アップロード

ここにはまだ何もありません...

ファイルをアップロード

iThenticateでの文書アップロード

文書の提出方法

「マイファイル」の画面から中央にある「ファイルをアップロード」を選択します。



iThenticate の「マイファイル」管理画面。左側のサイドバーで「マイファイル」が選択されている。右側の操作パネルには「アップロード」ボタンがあり、赤い枠で囲まれて強調されている。画面中央には「ここにはまだ何もありません...」というメッセージと「ファイルをアップロード」のテキストがある。



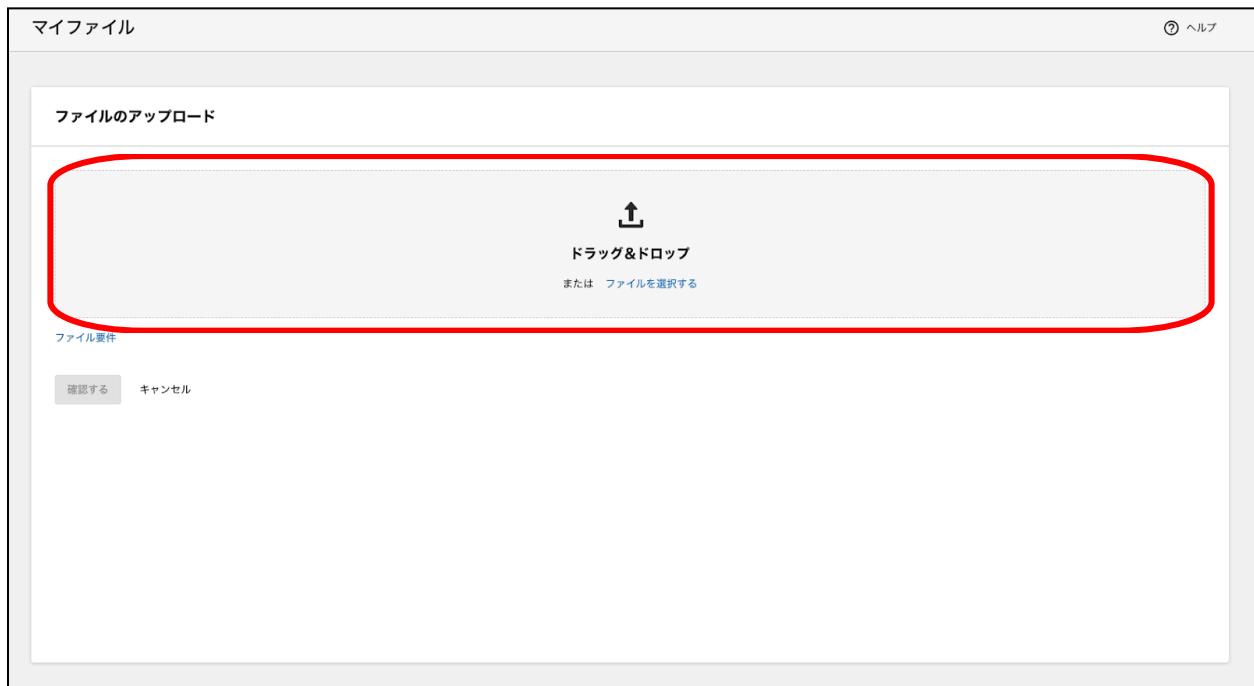
右側の「アップロード」からも提出ができます。



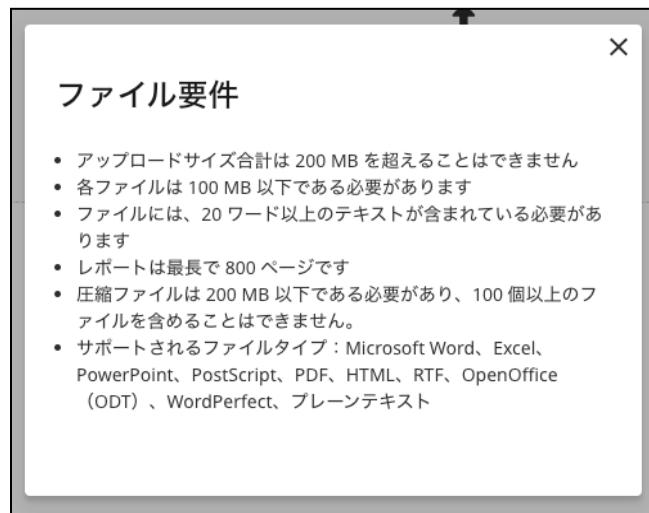
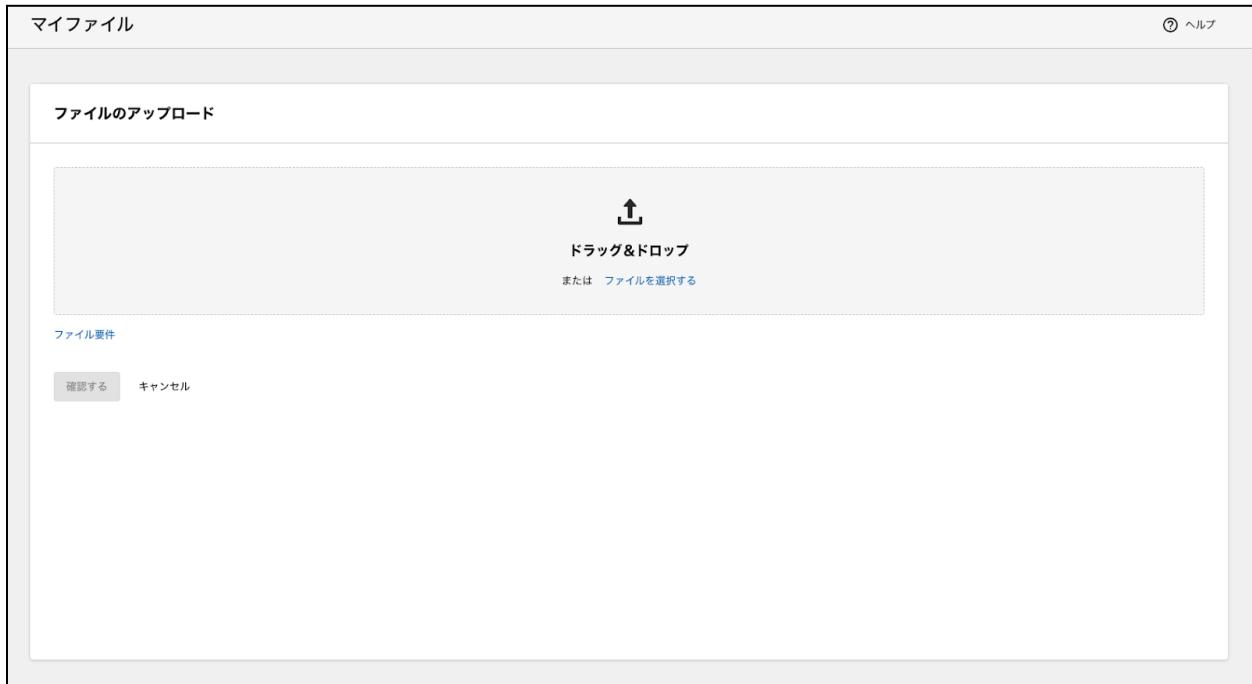
「リポジトリ比較」を選択するとインターネット、刊行物など膨大のコンテンツと比較できます。

「文書対文書の比較」は指定した特定のドキュメントと比較できる機能です。

提出する際はファイルをそのまま枠内にドラッグ&ドロップするか、「ファイルを選択する」からファイルを選んでください。



ファイル要件には提出可能なファイルタイプが記載されています。



任意で著者の名前を入力し、「確認する」をクリックして提出を完了します。
提出するファイルを今後の比較対象にする場合は、「アカウントのリポジトリにインデックスします。」にチェックを入れてください。

ファイルをアップロード

iThenticate paper.docx.pdf

タイトル
iThenticate paper.docx.pdf

著者の名

著者の姓

アカウントのリポジトリにインデックスします。[詳細について](#)
インデックス済みの提出物は、類似性レポートでの比較に使用することができます。

確認する キャンセル

提出したタイミングで類似性チェックが開始されます。



マイファイルに提出物が追加され、詳細を確認できます。

右側の3点リーダーから提出の編集や削除を行うことができます。

右側の3点リーダーから提出の編集や削除を行うことができます。

右側の3点リーダーから提出の編集や削除を行なうことができます。

- 提出物の名前などの編集
- 提出物を別のフォルダーに移動させる
- 提出物を削除する
- 提出物IDをコピーする（管理者やサポートチームに連絡する際に求められる場合がある）

類似性チェックが終わると、結果のパーセンテージが表示されます。

右側の3点リーダーから提出の編集や削除を行なうことができます。



タイトルまたは類似性の判定結果をクリックすると、類似の詳細が確認できるレポート（以下、類似性レポートと呼ぶ）が開きます。

類似性レポートの見方

一致箇所の確認方法

類似性レポート

ハイライトされた一致は、テキストの類似性を示すもので、必ずしも剽窃を示すものではありません。一致する部分は引用もあれば、参考文献に記載されている引用もあります。弊社は、それぞれの一致についてできるだけ多くの情報を提供し、その正当性を評価する手助けすることを目指しています。

全体の類似度

全体の類似度は、提出物のテキストがデータベースのソースとどれだけ一致するかを示すパーセンテージです。このパーセンテージは、一致する単語の数を文書内の単語の総数で割ることによって計算されます。

検索対象

提出物に対して（少なくとも20ワード以上）類似性レポートが生成されます。類似性レポートには選択された検索対象、またはデータベースに対して提出されたテキストを比較した結果を確認できます。

データベースには以下が含まれます：

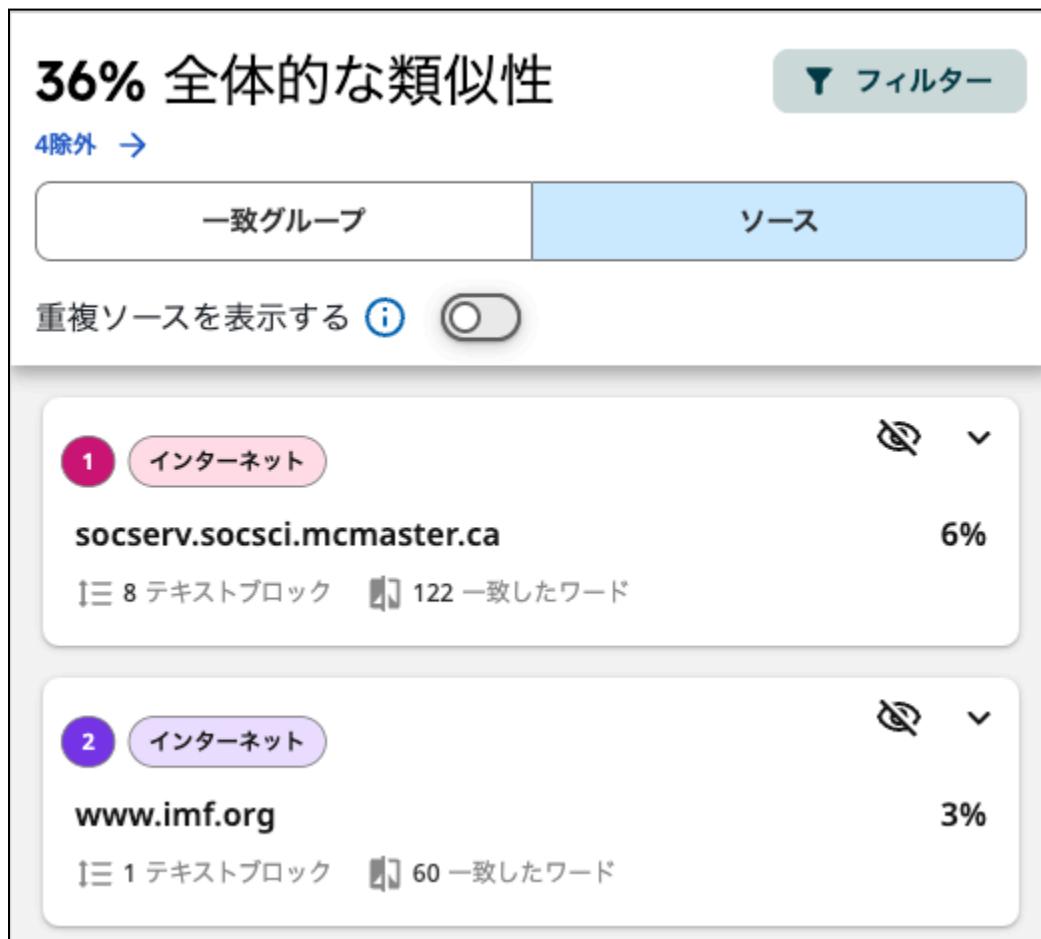
- 公開中および、アーカイブ済みのウェブページ
- 定期刊行物、ジャーナル、出版物
- 機関専用のリポジトリに含まれる提出物

検出された一致の詳細は類似性レポートから確認できます。

The screenshot shows the iThenticate software interface with a document titled "UK Economy.docx". The main area displays the document content with red highlights indicating matching text segments. On the right, a sidebar titled "36% 全体的な類似性" (Overall Similarity) lists detected sources and their similarity percentages. The sources include academic websites like socserv.socsci.mcmaster.ca, adam.curry.com, www.econstor.eu, ec.europa.eu, and ar.scribd.com, along with other web pages.

ソース	類似性 (%)
socserv.socsci.mcmaster.ca	6%
adam.curry.com	3%
www.econstor.eu	2%
ec.europa.eu	2%
ar.scribd.com	2%

一致の概要



新しい類似性レポートでは、テキストの類似性をより迅速に把握するために、2種類のビューを提供します：

- ソース：ソースからは、類似度の高い順に各ソースをリストに表示されます。
- 一致グループ（英語で書かれた提出物のみ）：一致グループのビューからは、一致箇所を4つのカテゴリーに分けて表示させます：
 - 引用符がなく、引用も明記されていない一致
 - 引用符がついていない一致
 - 引用したことが明記されていない一致
 - 引用符および引用の明記もある一致

各カテゴリーの一致に対してそれぞれの色で判別されます。

重複するソース

同じ一致箇所は複数のソースと類似が検知される場合があります。テキストが複数のソースに類似している場合、一致する単語が多い方のソースが最初に表示されます。

単語数が同じであれば、ソース元の種類を見て、以下の優先順位で表示させるソースを決めます：

1. インターネット
2. 出版物
3. iThenticateリポジトリに追加されている提出物

同じテキストに一致する重複したソースを表示するには、一致のハイライトまたはソースを選択し、右側の「他のソースを表示する」をクリックしてください。

The screenshot shows the iThenticate software interface. At the top, there is a green circular button with the number '4' and the text 'インターネット'. To the right are icons for a magnifying glass and an upward arrow. Below this, the URL 'ec.europa.eu' is displayed, followed by a percentage '2%' and a link 'ec.europa.eu/economy_finance/publications/publication562_en.pdf'. Underneath the URL, there are two counts: '2 テキストブロック' and '45 一致したワード'. In the center, there is a text preview showing a paragraph from a PDF. The word 'population' is highlighted in green, indicating a match. Below the text preview, there are navigation arrows ('< 1 / 2 >'), a count '24語', and a blue link '全ソーステキストを表示'. At the bottom left, there is a button labeled '一致を除外する' (Exclude Match). A dropdown menu at the bottom right contains the text '他のソースを表示する'.

4 インターネット

× 他のソースを表示しない

現在のソース

ec.europa.eu

2% [三] 2 matches [N] 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

euroframe.net

2% [N] 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

gemma.gov.mt

2% [N] 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

socialsecurity.gov.mt

2% [N] 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

www.econstor.eu

2% [N] 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

www.euroframe.org

2% [N] 45 一致 {count, plural, one {word} その他 {words}}

18 more sources ▼

重複したソースも含む、全てのソースを一覧から表示させる場合は、「重複ソースを表示する」を有効に切り替えてください。

36% 全体的な類似性

▼ フィルター

一致グループ

ソース

重複ソースを表示する  

1 インターネット

ec.europa.eu

8%

 172 一致したワード

2 インターネット

www.suerf.org

8%

 171 一致したワード

重複ソースを表示する  

一致グループ

一致グループは、ハイライトされた一致箇所を、引用符と引用の明記の有無に基づいて4つのカテゴリーに分類します。カテゴリー分けすることにより、共通している一致箇所がより特定しやすくなり、問題がある一致なのかそうでないのかをより早く特定することができます。

ハイライトの色と基準

一致するテキストはそれぞれのカテゴリーに該当する色でハイライトされます。各一致グループの色と基準は次のとおりです：

 39 引用および引用符なし : 引用符がなく、引用も明記されていない一致

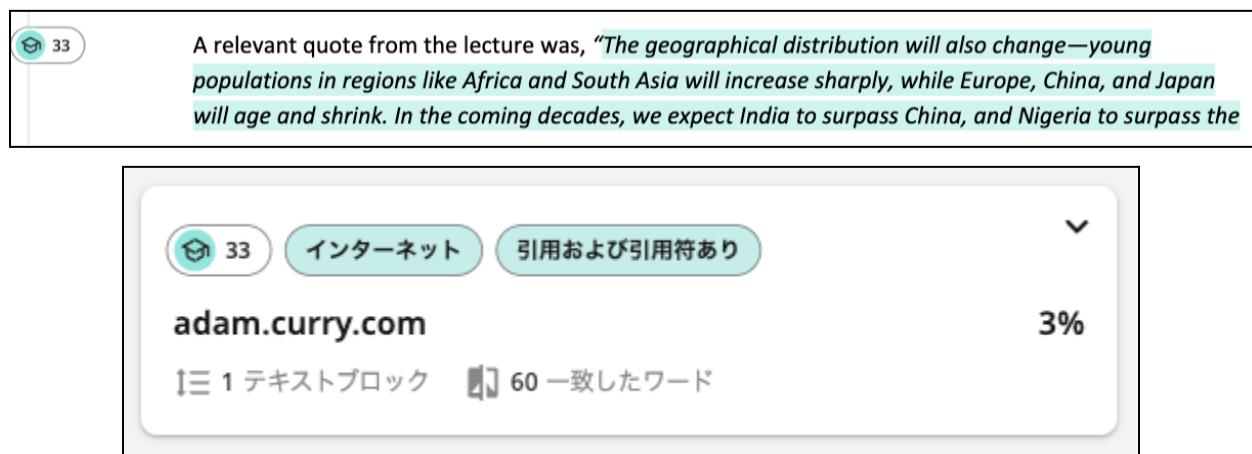
 1 引用符なし : 引用符がついていない一致

 1 引用の明記なし : 引用が明記されていない一致

 0 引用および引用符あり : 引用符および引用の明記もある一致

ソース番号

文書内の各ハイライトにはソース番号が付与されており、ソースの詳細にも表示されます。文書内のハイライトを選択すると、右側のパネルで該当するソースにフォーカスが当たります。



A relevant quote from the lecture was, "The geographical distribution will also change—young populations in regions like Africa and South Asia will increase sharply, while Europe, China, and Japan will age and shrink. In the coming decades, we expect India to surpass China, and Nigeria to surpass the..."

33 インターネット 引用および引用符あり

adam.curry.com 3%

1 テキストブロック 60 一致したワード

一致グループを選択

特定の一致グループを確認するには、4つの一致グループから1つを選択し、右側のパネルでその条件を満たす一致箇所にフォーカスを当てます。

36% 全体的な類似性

≡ フィルター

一致グループ

ソース

1 整合性フラッグ

フラッグに移動

47 Turnitinのデータベースで一致が見つかりました

ヘルプを表示 ^

45 引用および引用符なし

33%

1 引用符なし

0%

0 引用の明記なし

0%

1 引用および引用符あり

3%

一致の詳細

一致箇所のソースパネルをクリックして、パネルを拡大にすると、ソース先の詳細が見れます。

1 インターネット

引用または引用符なし

socserv.socsci.mcmaster.ca

6%

8 テキストブロック 122 一致したワード

拡大にする前に確認できる情報：

一番上の行に表示されているのは、上位一致ソースとして検知されたソース番号、(こちらの番号は文書中の一致が検知されたテキストの隣にも表示されます)
コンテンツタイプ、および一致グループの基準が隣に記載されています。

2行目には、ソース先の名前と一致率が表示されます。

3行目には、そのソースに検知されたテキストの箇所数と総語数が表示されます。

一致先の詳細

The screenshot shows a search result for a document from socserv.socsci.mcmaster.ca. The result is 6% matched across 8 text blocks, totaling 122 matching words. The page number is 1/8. There are 44 languages represented. A link to the full source document is provided: socserv.socsci.mcmaster.ca/iesop/papers/iesop_32.pdf.

for health care, those provinces with relatively high ratios may anticipate greater pressures in areas of public budgetary expenditure related to the older population.¹⁰ We turn now to the effects of demographic change on the labour force. The rapid population growth from the mid-1940s through the mid-1960s was reflected in rapid labour force growth, with a lag of some two decades to allow for the children of the baby boom to reach working age. There was a similar lag following the baby bust, the children of which first reached working age in the latter part of the 1980s, and that played an important role in the slowing down of labour forc

[全ソーステキストを表示](#)

[一致を除外する](#)

一致ソースを拡大にすると、ソース先のURLの確認やその他の機能が表示されます。文書内のハイライトをクリックすると、同じくソースを拡大できます。

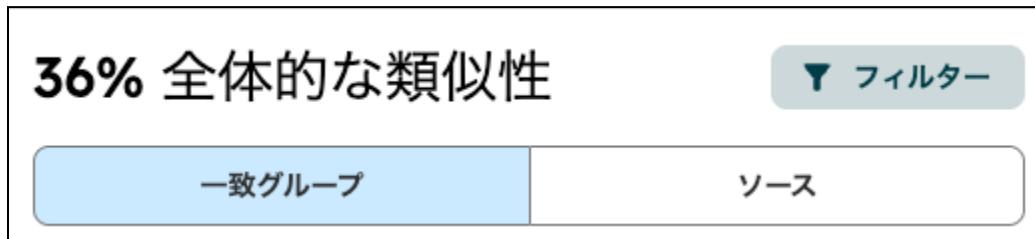
同じソースの他の一致に移動したい場合は、真ん中の「<」と「>」の矢印をクリックします。



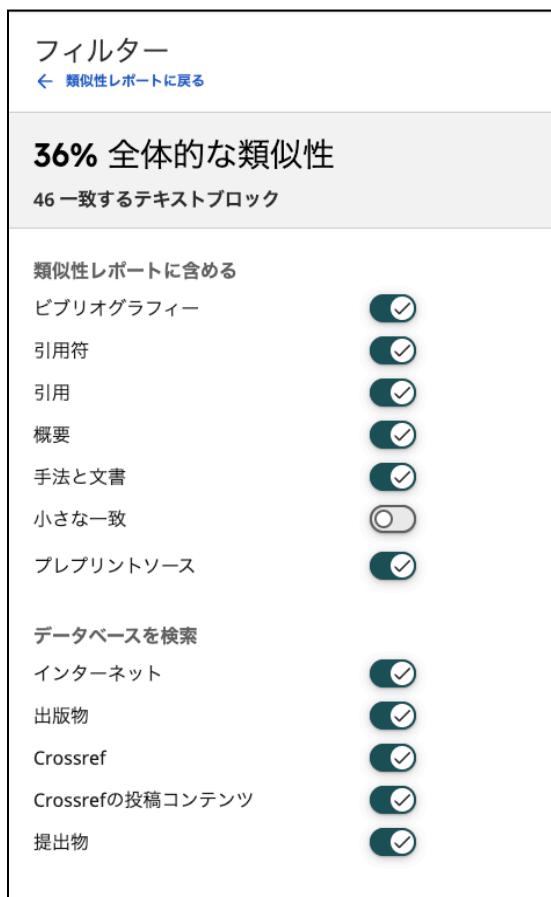
フィルター

フィルターを使用してレポートをカスタマイズし、レビューとの関連性に応じて、特定の一致やソースを表示または非表示にすることができます。例えば、参考文献のフィルターを "オフ" に切り替えると、投稿の最後にある書誌や参考文献リストで検知されたすべての一致が非表示になります。

1. フィルター機能を表示するには、類似性レポートの右上にある「フィルター」を選択してください。



2. フィルターの設定を変更するには、各項目の隣にあるトグルを選択します。デフォルトとして、全ての項目は有効になっています。



- 「類似性レポートに戻る」から元の画面に戻り、フィルターが適応済みの類似性レポートを確認できます。

フィルターの詳細

フィルター機能は、表示される一致の基準をカスタマイズします。これらのフィルターを変更すると、全体的な類似度のパーセンテージに影響する場合もあれば、影響しない場合もあります。

- 参考文献：書誌、引用文献、参考文献リストに一致するものがあれば、これらを表示・非表示にします
- 引用符：引用符付きの一致箇所を表示・非表示にします
- 引用：引用が明記されている一致箇所を表示・非表示にします
- 小さな一致：こちらを有効にすると、指定したワード数以下の一致箇所を除外します。
例：「12」を入力した場合、12語未満の一致箇所は非表示になります。



比較対象（データベースを検索）

こちらから検索対象となるコンテンツを表示・非表示に変更できます。

- インターネット
- 出版物
- Crossref : TurnitinはCrossref（国際DOI財団の公式登録機関）とのパートナーシップにより、1500の学術出版社に掲載されているジャーナル記事などの購読コンテンツと比較できるようになっています。
- 「Crossrefの投稿コンテンツ」は提出されたがまだ出版されていない学術コンテンツです。
- 提出物：リポジトリに含まれている提出物

除外

特定の一致またはソースをレポートから除外します。

一致の除外

文書内のハイライトまたはソース内のハイライトをリストから選択します。
文書内のハイライトから「このテキストを除外する」をクリックして除外します。

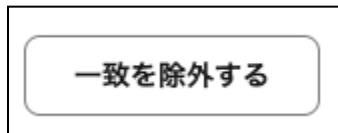
1

Labour Force (copy & paste with highlighting)

このテキストを除外する

change affects the lab
1940s through to the mid-1960s wa
decades to allow for the children of

ソース内のハイライトからは「一致を除外する」をクリックして除外します。



ソースの除外

特定のソースを除外する方法は下記の通りです：

- ソースタブを選択します

36% 全体的な類似性

▼ フィルター

一致グループ ソース

重複ソースを表示する (i)

- ハイライトされている一致箇所を選択、またはソースを拡大します

1 インターネット

socserv.socsci.mcmaster.ca 6%

1三 8 テキストブロック 122 一致したワード

1 / 8 44語

socserv.socsci.mcmaster.ca/iesop/papers/iesop_32.pdf

for health care, those provinces with relatively high ratios may anticipate greater pressures in areas of public budgetary expenditure related to the older population.¹⁰ We turn now to the effects of demographic change on the labour force. The rapid population growth from the mid-1940s through the mid-1960s was reflected in rapid labour force growth, with a lag of some two decades to allow for the children of the baby boom to reach working age. There was a similar lag following the baby bust, the children of which first reached working age in the latter part of the 1980s, and that played an important role in the slowing down of labour forc

全ソーステキストを表示

一致を除外する

△ 他のソースを表示する

3. 「」のアイコンをクリックすると、選択したソースは一致の結果から除外されます。

除外した内容を確認

除外項目が適用されると、全体の類似度の真下に除外項目の数が表示されます。「除外 →」を選択すると、除外項目のリストが表示されます。

36% 全体的な類似性

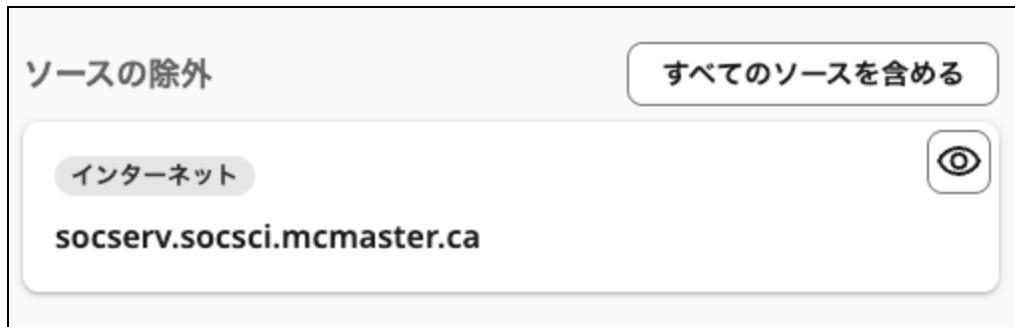
▼ フィルター

1除外 →

一致グループ ソース

重複ソースを表示する

このリストから、 のアイコンを選択することで、除外された項目を元に戻すことができます。全ての除外項目を一括で元に戻したい場合は、「すべてのソースを含める」を選択してください。



*フィルタや除外を適用しても、全体の類似性スコアが変わらない場合があります。例：一致が複数のソースに見つかった場合、1つのソースを除外しても数字が変わらない可能性があります。

類似性レポートのダウンロード

表示されている類似性レポートをファイルとしてダウンロードできます。

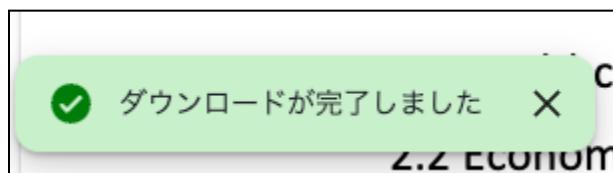
Table of Contents	
Abstract	2
Acknowledgements	3
Table of Contents	4
Introduction	5
Outlining the Study	9
Chapter 1: Economic Context	10
1.0 Demographics	11
1.1 Labour Market	15
1.2 GVA	18
Chapter 2: Literature Review & Methodology	20
2.0 Economic Impact of Ageing Population	20
2.1 Healthcare Impacts	23
2.2 Economic Opportunities (Silver Dollar)	26
Population Crisis	29

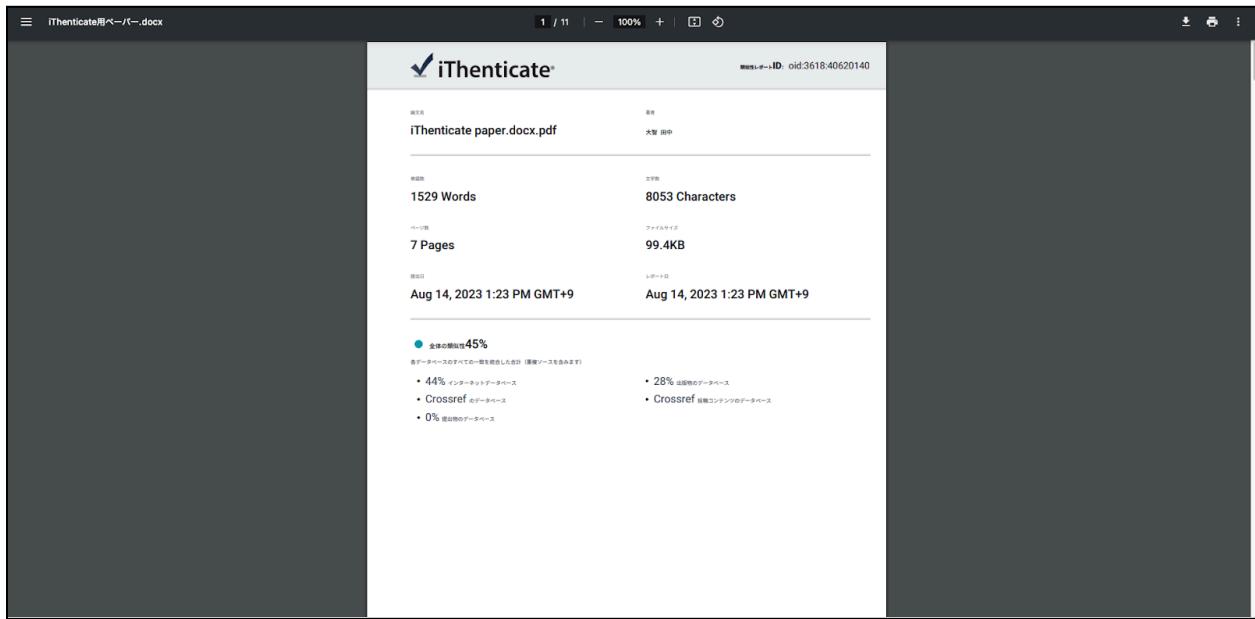
Sources	Similarity Score
adam.curry.com	3%
www.econstor.eu	2%
ec.europa.eu	2%
ar.scribd.com	2%

リストからダウンロードしたいファイルを選択します。

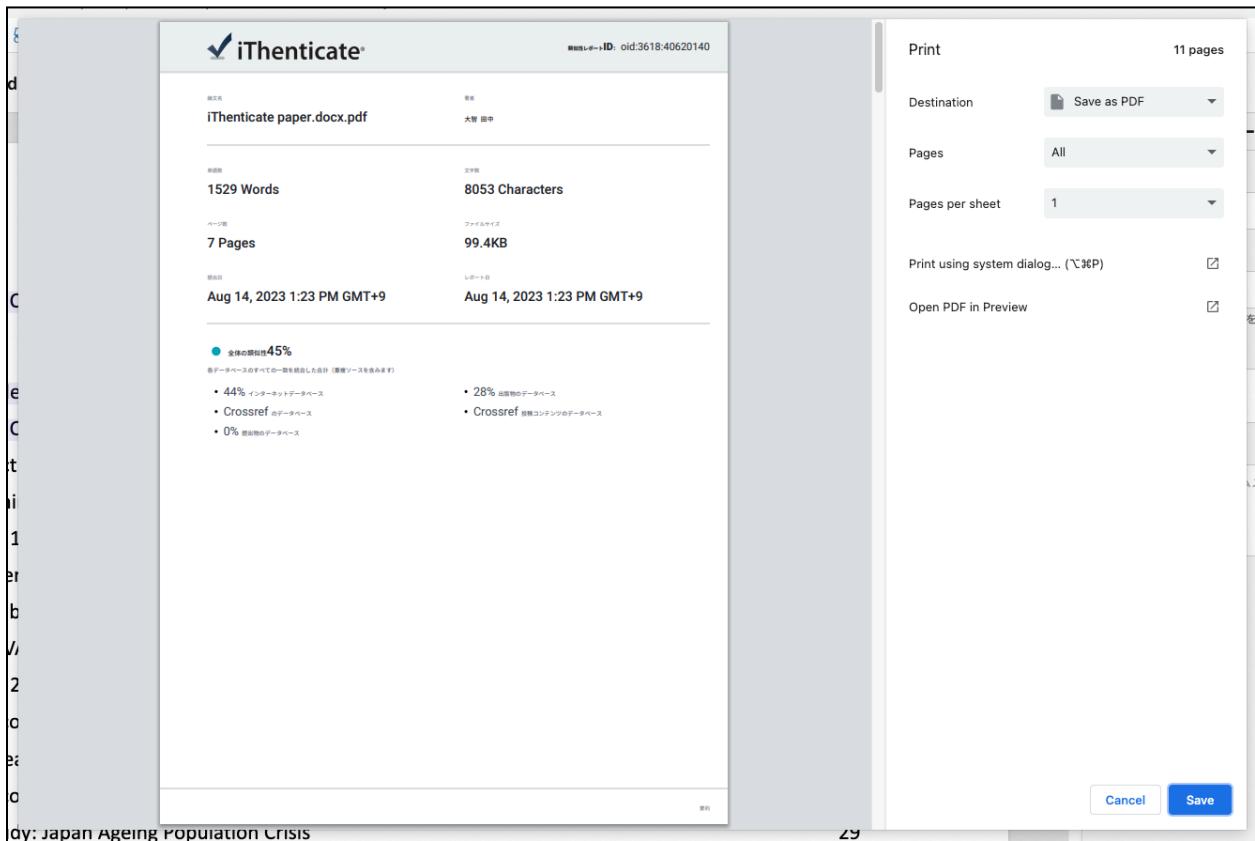


ダウンロードを選んだ際に下図のようにPDFファイルが保存されます。





印刷した場合：



フラッグ

システムのアルゴリズムを使って、テキストに（文書中に）通常の投稿とは異なる操作がないか、ドキュメントが詳細に調査されます。奇妙なことに気付いた場合は、レビューできるようフラグを立てます。例：隠しテキストや置き換えられた文字（日本語の文章には対応していません）

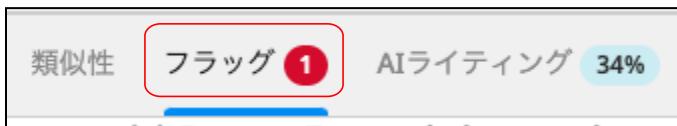
The screenshot shows the iTenticate interface with the following details:

- Top Bar:** iTenticate sample AI+Flag.docx, a flag icon, and a link to change to Classic view.
- Header:** 順序性 カスタマイズしたセクション フラッグ ① AIライティング 36%
- Text Area:** Two paragraphs of text with several words highlighted by red boxes. A red flag icon with the number 2 is located on the left side of the first paragraph.
- Right Panel:**
 - Section 1: レビューするフラッグ**

不審なテキスト操作が見つかりました。優先事項としてフラグを確認してください。
 - Section 2: 置換文字**

異なるアルファベットや文字セットの似ているものに文字が置き換えられることを指します。
 - Section 3: 詳細**

2ページの不審な文字の数: 25
Greek: 25



1 レビューするフラッグ

不審なテキスト操作が見つかりました。優先事項としてフラッグを確認してください。

整合性フラッグ

置換文字

別のアルファベットの類似するものに文字が置き換えられることを指します。



2ページの不審な文字の数：25

Greek: 25

置換文字とは何ですか？

異なるアルファベットや文字セットの似ているものに文字を置換することで、類似性検出をすり抜けようとする試みです。

詳細

「詳細」から検知した内容について詳しく確認できます。

置換文字の検索

異なるアルファベットの一部の文字が同じように見え、肉眼で見分けるのが不可能ではないとしても困難な場合があります。

e
Latin

e
Cyrillic

o
Latin

o
Greek

当社のシステムでは、答案をスキャンする際にこれらの文字が自動的に置き換えられるため、類似性レポートに影響が及ぶことはありません。こうして文字を置き換える目的は、類似性一致を中断することです。

確認方法

ほとんどのファイルタイプでは、元々アップロードした文書をワードプロセッサーまたはPDFビューアーで開くことができます。また、検索機能もしくは検索キー（CTRL + F）を使用して、文書内の非ラテン文字を見つけることができます。

異なるフォントが使用されているファイルやブレーンテキストのファイルを表示すると他の文体の違いが示される場合があり、アルファベットの識別に役立ちます。完全にサポートされていない場合、これらは◆や□などの固有のアイコンで表示されます。

閉じる

AIライティング検知機能

提出物全体のなかでAIによって生成されたと判断した文章をハイライトで示し、その割合をパーセンテージで表示します。

パーセンテージをクリックすると新しい画面が開き、検知した部分を確認できます。

AIライティング検知機能の詳細について、こちらをご確認ください：

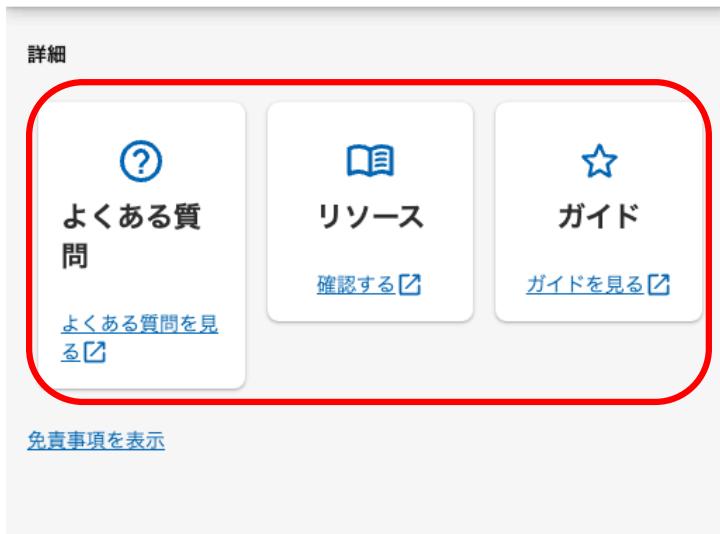
<https://www.turnitin.com/ja/ai-writing>

The screenshot shows a document titled "UK Economy.docx" open in a browser. The top navigation bar includes "iThenticate", "UK Economy.docx", and "AIライティング 34%". Below the document content, there is a sidebar titled "AIライティング" with a question "この回答はどの程度AIで生成されていますか？" and the result "34%". The sidebar also includes links for "よくある質問", "リソース", and "ガイド". The main content area contains several paragraphs of text, with certain phrases highlighted in blue to indicate they were generated by AI. A red box highlights the "AIライティング 34%" section in the sidebar.

This is a close-up view of the Turnitin interface. It shows the "AIライティング 34%" summary from the previous screenshot, with the entire box highlighted in red. The sidebar options "よくある質問", "リソース", and "ガイド" are also visible.

右側からAIライティング検知機能に関するリソースやガイドにアクセスできます。

AIライティング



AIライティング検知機能の免責事項は「免責事項を表示」から確認できます。

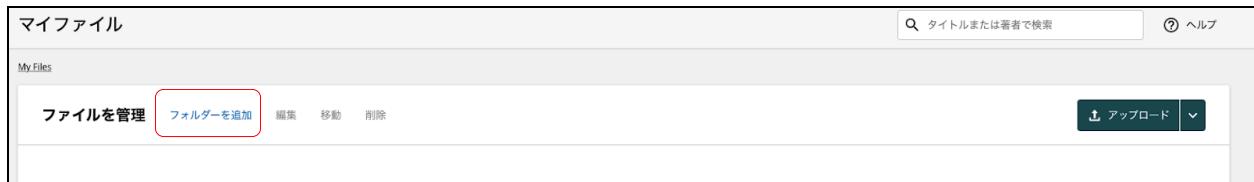
免責事項非表示

当社のAIライティング評価は、生成AIツールで作成された可能性があるテキストを教員が特定するのに役立つよう設計されています。この機能は正確でない（人間が作成したテキストとAI生成のテキストの両方が識別される）場合があるため、受講生に対する不正行為の唯一の根拠として使用しないでください。学業上の不正行為が発生しているかどうかを見極めるには、組織による特定の学業方針の適用に加えて、さらなる精査と人間の判断が必要になります。

フォルダーの管理

新規フォルダーの作成や編集

レポートの提出画面から新しいフォルダーを追加する際は「フォルダーを追加」を選びます。



フォルダーの名前を記入し、フォルダーに提出するファイルを今後の比較対象にする場合は
「このフォルダーにアップロードされたファイルは、類似性比較にしようされます」をオンに
設定します。



作成したフォルダーを編集する際は右側の3点リーダーから行ってください。



「共有」を選択するとアカウント内に登録されている別のユーザーとフォルダーを共有できます。

共有されたユーザーはそのフォルダーに提出したり、提出されたファイルを確認できるようになります。



フォルダーや提出物を削除すると、「ゴミ箱」に移動されます。

The screenshot shows the iThenticate application window. On the left, there's a sidebar with options: マイファイル, 自分と共有済み, ゴミ箱 (selected), and 設定. The main area is titled "ゴミ箱" (Trash) and contains a sub-section titled "削除されたファイルの管理". It has buttons for "復元" (Restore) and "完全に削除" (Permanently Delete). Below these buttons is a table with three rows of deleted items:

□ タイトル	著者	類似性	日付追加済み ↓
□ テストフォルダー	-	-	8月 14, 2023
□ iT hentic ate paper.docx.pdf	大智 田中	45%	8月 14, 2023

At the bottom right of the main area, there are buttons for "ゴミ箱を空にする" (Empty trash) and "ゴミ箱を空にする" (Empty trash). The bottom of the window shows user information: Daichi Tanaka and the iThenticate logo.

復元または完全に削除する場合は、対象となるフォルダー・ファイルを選択して行ってください。

This is a modal dialog box titled "削除されたファイルの管理" (Deleted file management). It contains two buttons at the top: "復元" (Restore) and "完全に削除" (Permanently Delete), with "完全に削除" highlighted by a red rectangle. Below the buttons is a list of deleted items, each with a checked checkbox and a preview icon:

- タイトル (Title)
- テストフォルダー (Test Folder)
- iThenticate paper.docx.pdf

ゴミ箱を空にするには右側の「ゴミ箱を空にする」から行ってください。



設定

デフォルトの類似性レポート設定

設定画面からデフォルトの類似性レポート設定を変更できます。

変更できる項目は：

- 比較対象のコンテンツ
 - Crossref : TurnitinはCrossref（国際DOI財団の公式登録機関）とのパートナーシップにより、1500の学術出版社に掲載されているジャーナル記事などの購読コンテンツと比較できるようになっています。
* 「Crossref投稿コンテンツ」は提出されたがまだ出版されていない学術コンテンツです。
- 類似性レポートから除外する文章
- カスタマイズのセクションを除外

The screenshot shows the 'Settings' page of the iThenticate interface. On the left, there's a sidebar with icons for 'My Files', 'Shared with Me', 'Trash', and 'Settings'. The 'Settings' icon is highlighted with a blue background. The main content area has a title 'Default Similarity Report Settings' and a sub-section 'Select what content to compare against:'. It lists several options with checkboxes, all of which are checked: 'Crossref', 'Crossref投稿コンテンツ', 'インターネット', '提出物', and '刊行物'. Below this, another section 'Exclude from similarity report: (⑦)' lists several options, none of which are checked: '抜粋', '小さな一致', '方法と資料', 'ビブリオグラフィー', '引用文', and '引用'. At the bottom, there's a section 'Exclude custom sections: (⑦)' with a single checked checkbox 'すべて選択/選択解除'. At the very bottom of the page are two buttons: 'Save' and 'Reset'.

こちらから設定変更を行うことにより、個々のレポートで調整しなくとも全ての提出物に対して変更内容を適用できます。